

## 第2次新宮市総合計画「基本構想（案）」に対するパブリックコメントの実施結果

- 意見の募集期間：平成29年8月1日（火）～平成29年8月15日（火）
- 意見者数（件数）：2人（5件）
- 提出方法：電子メール
- 意見及び市の考え方

| No. | 項目                        | 提出された意見   | 市の考え方   |
|-----|---------------------------|---|---|
| 1   | 本市の主な課題<br>(地域医療体制の維持・充実) | <p>適切な医療提供体制再構築と医師不足等の解決を考えてみると、</p> <p>新宮市、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町<br/>922.43 km<sup>2</sup> 68100人 1km当たり73人</p> <p>紀の川市、岩出市 266.72 km<sup>2</sup>+橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町 463.43 km<sup>2</sup> =278000人 1km当たり380人</p> <p>新宮圏 病院+診療所 1,133 基準病床数 628</p> <p>「基準病床数」とは、医療法の規定に基づき、病床整備の基準として定めるものである。既存病床数が「基準病床数」を上回る圏域においては、原則として病床の新設・増加が制限される。</p> <p>充足率 救命・救急（夜間休日救急搬送）112.7%救命・救急急性心筋梗塞（入院）102.7%</p> <p>和歌山県における公的病院について</p> <p>橋本市 県立和歌山医科大学 紀北分院 紀の川市 公立那賀病院 有田市 済生会病院 御坊市 国立日高病院 田辺市 国立南和歌山病院 新宮市 新宮市立医療センター</p> <p>上記のデータより、広い地域に老人が住んでいて、病院の病床数も足りている。</p> <p>また、救命・救急（夜間休日救急搬送） 救命・救急急性心筋梗塞（入院）充足率も100%以上である。</p> <p>なのに医師が不足している。</p> | <p>和歌山県では平成28年5月に「和歌山県地域医療構想」を策定し、現在は各医療圏域ごとに「協議の場」を設けて、地域医療構想の実現に向けた動きが始まっています。和歌山県地域医療構想では、新宮医療圏はもとより県境を越えた周辺地域の拠点として、新宮市立医療センターに多くの患者が集中しているという現状や、2025年（平成37年）には新宮医療圏で高度急性期病床が44床不足するとの推計を踏まえた上で、高度急性期機能を備えた医療機関から遠方となる当圏域としては、この地域内で高度急性期機能を担っていくことが決定されているところです。</p> <p>一方、平成29年3月に新宮市が策定した「新宮市立医療センター改革プラン（平成29年度～平成32年度）」においては、地域医療構想の圏域別の「協議の場」での決定などを参考にしながら、平成33年度までに医療センターの一部を高度急性期機能に転換するための準備を進めることにしています。</p> <p>新宮市立医療センターは、引き続き、新宮医療圏のみならず、隣接する三重県や奈良県も含めた地域の医療提供体制の中心的役割を果たし、地域の皆さまに頼りにされる病院づくりに努めてまいります。</p> |

|   |                                      |   |   |
|---|--------------------------------------|---|---|
|   |                                      | <p>設備があるが医者がいない。</p> <p>例 新宮市立医療センターに夜間休日救急搬送された父が脳梗塞で運ばれたが「医者は、いる」が専門分野じゃなく見れない状態であった。</p> <p>新宮市が運営する新宮市立医療センターは、地域医療の拠点としては、限界に来ていると思う。和歌山県における公的病院を見ると他の地域には、公立や県立・国立の地域医療の拠点がある。新宮圏内には、無い。新宮市では、既存病床数が「基準病床数」を上回る圏域においては、原則として病床の新設・増加が制限されているので 新設は、無理であるように思う。</p> <p>地域医療の充実及び医師の待遇改善とを同時にやっていかないといけないと考えます。</p> <p>良い医師がいない病院は、入院収益は増えません。</p> <p>新宮市立医療センターを奈良・三重を含めた高度急性期の充実した国立（県立和歌山医科大学 紀南分院 私立大学病院などに助成も含め）に譲渡して新宮市立医療センターを高度急性のさらなる対応を切に願います。</p> <p>医療構想圏域別の「協議の場」を和歌山県という縛りでなく三重県南部から奈良県南部を含めた協議の場で考える必要があると考えます。</p> |   |
| 2 | <p>政策目標 4</p> <p>（安定した雇用を生み出すまち）</p> | <p>●改装、起業、移住定住の支援について</p> <p>目標に記載の改装や起業支援を進められる際、まちの活性化を「昼の活動」のみに焦点を当てず、これから盛んになる民泊や、夜の商業施設や飲食事業等も幅広く支援していただきたいです。（観光業における側面ですが、昼は観光や自然とのふれあい等で充実するが、夜に楽しめる場所が少ない、等の意見があります）</p> <p>また、地域を限定せず、広く移住定住者への金銭的援助を行うことも考慮いただければと存じます。</p>  | <p>新宮市では、商店街の空店舗を利用して新規出店する事業者へ、改装や家賃の一部補助を行っています。</p> <p>また、特定の融資を受けた新規開業者には、利子支払額の一部を補助するなどの起業支援を行っており、ほかにも、開業初期の広告宣伝費補助、販路拡大目的のネットショップ開設費補助など、起業者を応援するメニューを用意し、新規創業の促進を図っています。</p> <p>今回ご意見いただきました中で、飲食事業等への支援として、昼夜を問わず食事の提供を主とする飲食店につきましては、希望により新宮うまいもんお食事処マップに掲載し、観光施設や宿泊所に配布して広くPRしております。</p> <p>ほか、新宮市観光協会のホームページへは、掲載希望を募り、お食事処を紹介しております。</p> <p>なお、ご意見いただきました民泊や夜の商業施設への支援につきましても、今後の検討課題とさせていただきたいと思</p> |

|   |                                      |   |   |
|---|--------------------------------------|---|---|
|   |                                      |   | <p>ます。</p> <p>また、移住者への金銭的援助につきましては、現時点では、市独自の取り組みは行っておりませんが、和歌山県が「くらし」「しごと」「住まい」の3つの側面に対する支援制度を創設しており、本市では、熊野川町地区、高田地区が対象地域となっております。</p> <p>ご意見いただきました金銭的援助の実施につきましては、市政に対する具体的なお提案として、今後の取り組みを協議する中で検討させていただきます。</p>   |
| 3 | <p>政策目標 4</p> <p>(安定した雇用を生み出すまち)</p> | <p>●若者の定着について</p> <p>新宮市は自然豊か且つ商業施設も充実しているため、「住みやすいが、自然も豊か」というアピールが可能かと思われます。</p> <p>都会では困難な、「自然とのふれあい」と「教育」を結び付けて対外的にアピールしては如何でしょうか。</p> <p>(参考 住みたい田舎ベストランキング<br/> <a href="https://seniorguide.jp/article/1037434.html">https://seniorguide.jp/article/1037434.html</a>)</p>   | <p>現在、高田小・中学校では地域の田んぼを借りて、総合的な学習で米作りに取り組んでおり、地域の方々と一緒に田植え、稲刈り、脱穀等を行い、収穫したお米をいただいています。</p> <p>また、熊野川小学校では、同様に米作りに取り組み収穫祭を行うほか、近くの「田んぼ水族館」での生き物観察や熊野古道での遠足など、豊かな自然環境を生かした教育に取り組んでいます。</p> <p>本市では、進学や就職に伴う若者の転出が顕著であり、生産年齢人口の維持・拡大は将来に向けての大きな課題としていことから、ご意見いただきました自然とのふれあいを生かした教育も本市の魅力の一つとして、若者の移住・定住を促すための情報発信や取り組みについて検討してまいります。</p>                             |
| 4 | <p>政策目標 4</p> <p>(安定した雇用を生み出すまち)</p> | <p>●商店街の活性化について</p> <p>商店街らしい景観にしていく必要があります。</p> <p>商店を並べて賑わいをもたせることによって商店街かつ観光地らしくする方法がありますが、新宮市の商店街は現在シャッターが目立つため、それは叶っていません。</p> <p>そのため、商店街の外套の軸に暖簾を連ねて掲げる等、まず見た目に分かりやすく観光客にも地域住民にも高揚感を齎す取り組みがあると良いかと思えます。</p> <p>(参考 十津川村 <a href="http://totsukawa.jugem.jp/?eid=991">http://totsukawa.jugem.jp/?eid=991</a>)</p> | <p>ご意見いただきましたように、普段の商店街は人通りも少なく、シャッター通りで寂しいと感じられるかもしれません。</p> <p>そこで、商店街の空店舗に新規出店を行う事業者に、改装や家賃の補助を行っています。ここ数年は、新規出店者が多く見られ、空店舗が減少しており、商店街の活力とにぎわいを生み出しています。</p> <p>また、仲之町、丹鶴、駅前本通りの商店街では、年に数回、商店街イベントを行っており、特に、3月に開催している商店街活性化イベント「春よこい」では、商店街が人で埋まるほどの大盛況となっております。</p> <p>今後も、商店街の街並みを観光化するなど、先進地の事例も参考にしながら、民間の活力をアシストできるよう努め、商店街の活性化、にぎわいの創出に繋がりたいと考えています。</p> |

|   |   |  |  |
|---|---|--|--|
| 5 | <p>政策目標 5</p> <p>(魅力ある文化がつながりにぎわいのまち)</p> | <p>●観光について</p> <p>具体的ですが、以下のような取り組みが必要だと感じます。</p> <p>(1)英語表記を増やす。(各観光地、地図、ホームページ、公共交通機関の案内等)</p> <p>(2)案内の地図を分かりやすくする。</p> <p>(3)順路の指示になるような旗や看板を増やす。</p> <p>(4)Free Wi-Fi 区域を増やす。</p> <p>(5)近隣の観光地(例えば温泉のある勝浦等)やタクシー等の交通機関を複合的に連携した観光ルートや観光方法を確立する。</p> <p>また、新宮を盛り上げようとしている活動家も多いため、活動家同士の交流の場を設けることも重要かと思います。</p> | <p>新宮市では昨年度に観光協会のホームページを多言語化しリニューアルしたほか、数年前より多言語対応の総合案内板やルート案内板設置、観光施設等への無料 Wi-Fi 設備整備を行ってきましたが、まだまだ看板、Wi-Fi スポットともに不足していると認識しておりますので、今後も効果的な設置場所を検討しつつ整備を進めてまいります。</p> <p>公共交通機関の案内等につきましては、現在、交通事業者や国・県・自治体が一体となり、路線ごとに色分けし最寄りの観光スポットを併記した広域の案内図の考案など、外国人観光客の方が二次交通を利用しやすい地域となるよう改善に取り組んでいるところです。</p> <p>また、今年度は市の観光振興計画を策定するため、参加者を公募して数回ワークショップを開催しますので、新宮市を盛り上げる意欲あふれた方々に多く集まっていただき、参加者同士のみならず、地域全体で連携しあい、街が活性化する切っ掛けになればと考えています。</p> |
|---|---|--|--|